

# 香竜幼稚園に寄せる思い



ふじ組 橋本 薫  
思いこせば6年前、上の子の一日入園の日、旧園舎のストーブを見て驚きました。

「今時、ストーブなんて……。火傷をする子はないのだろうか？」しかし、その心配も杞憂に終わり、大切なのは危険を遠ざける事よりも近寄らない事を学ぶ事だと教えていただきました。ストーブだけではなく、友達とのけんかや遊具もそうです。幼少の時からいろいろ体験する中で、身体や心で少しづつ学んでいく事が大切なですね。そういう幼稚園で過ごせた子供達は幸せでした。ありがとうございました。

ゆり組 栗田 浩輔  
一番楽しいのは園庭でサッカーレができます。あとコンピュータ。でもカブラとか遊具とか他にも楽しいこといっぱいある。

りす組 栗田 都雷  
僕はお友達と外でかけっこしたり遊具で遊んだりするのが楽

ました。今日はいいして来たんだなあーと感じる瞬間で

（楽しい娘の姿が浮かぶ毎日）  
「ねえ、お母さん、今日は何をしてでしょうね。」と毎日バスから降りると、もつたいぶる娘の一言。その後必ず「お母さんもやりたかったでしょう」と。

年中 榆井 静枝  
私が家に住んで、7度目の作品展でしたが、初めての園舎で開催されました。クラス毎のテ

（楽しい娘の姿が浮かぶ毎日）  
「ねえ、お母さん、今日は何をしてでしょうね。」と毎日バスから降りると、もつたいぶる娘の一言。その後必ず「お母さんもやりたかったでしょう」と。

匿名希望  
私が幼稚園生だった頃、たんぽぽの教室（その当時はゆりでした）と、となりの物置を行ったり来たりすることができ、秘



# 幼稚園の思い出



しいよ。

卒業を間近にして、改めて思ふ。本当に香竜幼稚園に決めて良かったな、と。何より家庭的なこと。全ての先生が、全ての子供の名前を覚えていてくれる。

一人一人の個性を大切にしてく

れる。ちゃんとできた子もでき

なかった子も、頑張った分だけ

讃美てくれる。結果より、その

過程を大切してくれる。自然

の中で様々な体験をさせてくれる。……と、書きれないが

香竜幼稚園に2年間通った息子

は、見違えるほど頼もしくなっ

た。自分に自信を持ったのだろ

う。息子にとつて幼稚園での一

日一日が貴重な体験であった筈

だ。親の方も、子育てにおいて

大切なことを教えてもらつた気

がする。新しい園舎になつても、

時代が変わつても、香竜幼稚園

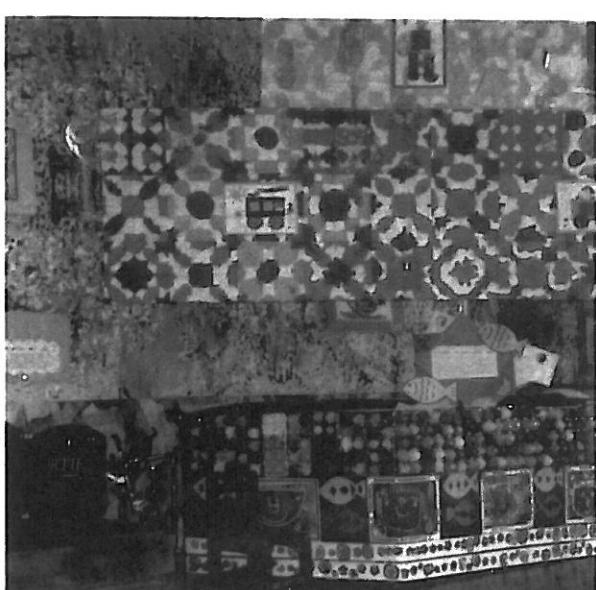
は変わらないでほしいと切に願

う。息子にとつて幼稚園での一  
日一日が貴重な体験があつた筈  
だ。親の方も、子育てにおいて  
大切なことを教えてもらつた気  
がする。新しい園舎になつても、  
時代が変わつても、香竜幼稚園  
は変わらないでほしいと切に願

う。息子にとつて幼稚園での一  
日一日が貴重な体験があつた筈  
だ。親の方も、子育てにおいて  
大切なことを教えてもらつた気  
がする。新しい園舎になつても、  
時代が変わつても、香竜幼稚園  
は変わらないでほしいと切に願

う。息子にとつて幼稚園での一  
日一日が貴重な体験があつた筈  
だ。親の方も、子育てにおいて  
大切なことを教えてもらつた気  
がする。新しい園舎になつても、  
時代が変わつても、香竜幼稚園  
は変わらないでほしいと切に願

## 旧園舎の思い出



ゆり組 羽鳥ジヨネル・母  
あります。一年だったと  
思います。先生方には大変お世  
話になりました。初めての日本、  
幼稚園。本人も良くがんばった

と思います。子供の一年の成長  
はすごいと改めて感じました。  
色々とありがとうございました。

（うさぎぐみのきょうしつをこわさないでこないよ。）とせんせいにいわれ、あたらしいねんじばんをようしてくられました。  
あのねんどばんどうなつてるかなあ。

さくら組 おんだまさみつ  
あれは、ぼくがうさぎぐみのときのことでした。ぼくのねんじばんがうさぎぐみのきょうしつのしたにおちてしましました。

「うさぎぐみのきょうしつをこわさないでこないよ。」とせんせいにいわれ、あたらしいねんじばんをようしてくられました。  
あのねんどばんどうなつてるかなあ。



たんぽぽ組 小泉 祥子  
上の子の時は文化会館での作品展で、大きくて広い所に作品があり、感激したのを覚えていました。今回、園での作品展は、日ごろ、子供達が頑張っている場所に所狭しと作品が並び、見ているだけで顔が綻び家庭的な感じがとても良かったです。

年少 内藤 利香  
一マの作品で彩られた教室は、どの部屋も素敵で、入るのにワクワクしました。日頃、子供達が元気に入り、活動したりしている園舎で、夢いっぱいの作品があふれた各教室をゆっくり見ることができ、旧園舎の良い思い出になりました。

（楽しい娘の姿が浮かぶ毎日）  
「ねえ、お母さん、今日は何をしてでしょうね。」と毎日バスから降りると、もつたいぶる娘の一言。その後必ず「お母さんもやりたかったでしょう」と。

密の通路みなくて、うれしかったことを覚えています。今はもういいぶんむかしの話ですけどね。



